



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栢森 秀行  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 栢森 啓 (TEL) 052-581-7111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,087	△4.4	1,337	119.5	1,399	111.1	908	163.9
28年3月期第1四半期	11,595	△10.2	609	△59.2	662	△56.9	344	△64.0

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 935百万円(165.2%) 28年3月期第1四半期 352百万円(△63.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	61.47	—
28年3月期第1四半期	23.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	46,454	29,635	63.8
28年3月期	47,139	29,291	62.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 29,635百万円 28年3月期 29,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	10.00	—	40.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,500	△11.2	200	△75.5	200	△77.9	120	△71.5	8.12
通期	50,000	6.4	1,000	—	1,000	—	600	—	40.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	14,783,900株	28年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	676株	28年3月期	628株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	14,783,255株	28年3月期1Q	14,783,272株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国経済の減速や英国のEU離脱による世界経済への影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、伊勢志摩サミットの開催に伴う入替自粛規制の影響により、新店及び改装店舗数が減少したことや、「検定機と性能が異なる可能性のあるパチンコ遊技機」の撤去・回収を控え、既存店舗への設備投資に対して慎重な姿勢になるなど、依然として厳しい事業環境が継続しております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、全国主要都市において「MIRAGATE 2016」展示会&セミナーを開催し、業績向上につながる改善策の提案を行い、パチンコホール関係者の来場者数は過去最高を更新しました。セミナーでは、内規変更や撤去・回収といった業界が直面する課題への施策について講演を行い、来場者から高評価を得ることができました。

制御システム事業におきましては、不透明な市場環境下でのパチンコ遊技機の回収と販売が計画されており、より柔軟に対応していく必要があるため、市場動向の情報収集の強化と各部材の調達や生産工程の見直しに取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高110億87百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益13億37百万円（同119.5%増）、経常利益13億99百万円（同111.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億8百万円（同163.9%増）となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

#### (情報システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、新型情報公開端末「REVOLA」を正式リリースいたしました。そのスタイリッシュで美しいフォルムに高評価をいただき、販売は好調に推移しましたが、新店及び改装店舗数が減少した厳しい市場環境のなか、売上高は前年同期には及びませんでした。

また、研究開発費等の販売管理費が第2四半期にずれ込んだため、セグメント利益は増加いたしました。

この結果、当事業の売上高は71億85百万円（前年同期比8.8%減）、セグメント利益は11億20百万円（同42.0%増）となりました。

#### (制御システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、機種数及び販売台数の減少により、パチンコ表示ユニット及び部品において、前年同期を下回りました。

また、パチスロ遊技機「探偵歌劇ミルキィホームズTD」をリリースし、当社過去最高の8,800台を市場投入することができました。

この結果、当事業の売上高は39億22百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益は6億72百万円（同166.4%増）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加はありましたが、売掛金や製品が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ6億85百万円減少の464億54百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、研究開発費やソフトウェアの取得に伴う未払金が、前連結会計年度末に比べ計上額が少なかったことにより、10億29百万円減少の168億19百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払額より親会社株主に帰属する四半期純利益の計上額が大きかったことにより利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ3億43百万円増加の296億35百万円となりました。自己資本比率は、63.8%（前連結会計年度末比1.7ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね当初の予定通り進捗しております。「(1) 経営成績に関する説明」で記載しましたように、研究開発費等の販売管理費が第2四半期にずれ込んだことから、平成29年3月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成28年5月13日発表の業績予想に変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成28年6月29日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,358,508	12,238,974
受取手形及び売掛金	7,301,287	5,228,441
電子記録債権	2,145,651	2,396,580
商品及び製品	6,451,710	4,953,918
仕掛品	2,090	5,120
原材料及び貯蔵品	2,478,820	2,636,607
繰延税金資産	542,784	558,991
その他	1,377,491	1,376,248
貸倒引当金	△76,016	△82,424
流動資産合計	29,582,326	29,312,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,644,056	4,642,227
土地	4,306,117	4,306,117
その他(純額)	1,299,711	1,300,632
有形固定資産合計	10,249,885	10,248,976
無形固定資産		
ソフトウェア	2,674,629	2,609,579
その他	36,117	35,835
無形固定資産合計	2,710,746	2,645,415
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,668,090	1,365,056
投資不動産(純額)	944,926	946,100
その他	2,651,638	2,584,540
貸倒引当金	△667,715	△648,193
投資その他の資産合計	4,596,940	4,247,502
固定資産合計	17,557,572	17,141,895
資産合計	47,139,899	46,454,354

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,628,271	2,953,917
電子記録債務	4,151,943	3,839,119
短期借入金	5,500,000	5,500,000
未払法人税等	29,443	168,920
役員賞与引当金	70,250	21,020
工事損失引当金	—	367
製品保証引当金	—	22,050
株主優待引当金	18,087	18,087
その他	4,278,720	3,099,913
流動負債合計	16,676,717	15,623,397
固定負債		
役員退職慰労引当金	428,987	436,279
退職給付に係る負債	564,960	558,212
その他	177,890	201,430
固定負債合計	1,171,838	1,195,922
負債合計	17,848,556	16,819,319
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	28,207,430	28,524,882
自己株式	△1,237	△1,310
株主資本合計	29,560,201	29,877,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,218	29,077
退職給付に係る調整累計額	△282,076	△271,622
その他の包括利益累計額合計	△268,858	△242,545
純資産合計	29,291,342	29,635,035
負債純資産合計	47,139,899	46,454,354



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	11,595,864	11,087,074
売上原価	7,501,866	6,736,077
売上総利益	4,093,998	4,350,997
延払販売未実現利益戻入	5,845	—
差引売上総利益	4,099,844	4,350,997
販売費及び一般管理費	3,490,522	3,013,240
営業利益	609,322	1,337,756
営業外収益		
受取利息	618	3,913
受取配当金	8,588	6,080
不動産賃貸料	18,990	20,258
貸倒引当金戻入額	6,765	19,024
その他	31,460	35,489
営業外収益合計	66,423	84,765
営業外費用		
支払利息	942	4,625
不動産賃貸費用	11,454	18,824
その他	662	—
営業外費用合計	13,058	23,449
経常利益	662,687	1,399,071
特別損失		
固定資産除却損	59	15,337
減損損失	1,107	—
投資有価証券評価損	—	50,802
特別損失合計	1,166	66,140
税金等調整前四半期純利益	661,520	1,332,931
法人税、住民税及び事業税	25,659	148,869
法人税等調整額	291,443	275,279
法人税等合計	317,102	424,148
四半期純利益	344,418	908,783
親会社株主に帰属する四半期純利益	344,418	908,783

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	344,418	908,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,996	15,859
退職給付に係る調整額	2,181	10,453
その他の包括利益合計	8,178	26,313
四半期包括利益	352,596	935,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	352,596	935,096

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,876,066	3,719,798	11,595,864	—	11,595,864
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	495	495	△495	—
計	7,876,066	3,720,293	11,596,359	△495	11,595,864
セグメント利益	789,277	252,424	1,041,702	△432,380	609,322

(注) 1 セグメント利益の調整額△432,380千円には、セグメント間取引消去134千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△432,514千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,185,929	3,901,144	11,087,074	—	11,087,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	21,367	21,367	△21,367	—
計	7,185,929	3,922,512	11,108,442	△21,367	11,087,074
セグメント利益	1,120,664	672,430	1,793,095	△455,338	1,337,756

(注) 1 セグメント利益の調整額△455,338千円には、セグメント間取引消去△2,484千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△452,854千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。